

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	観光課長	廣川 正
市民-03	重点事業	観光振興事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 観光課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	観光都市としての質の向上

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<p>かまから四季のみどころや観光マップ等の充実を図り、観光客への適切な情報提供を行った。外国人観光客の増加への対策として、外国語版ホームページの更新や外国語ガイド活動の支援の強化に取り組むとともに、マナー啓発用に作成した手拭いを使いマナー啓発を実施した。</p>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	18,122	9,809	当初予算(千円)	13,595		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	1,916	1,832	その他	3,700		
	一般財源	16,206	7,977	一般財源	9,895		
事業経費運営	人員配置数	1.3	1.3	人員配置数	1.3		
	人件費(千円)	11,363	11,862	人件費(千円)	11,026		
	総事業費(千円)	29,485	21,671	総事業費(千円)	24,621		
	市民1人当りの経費(円)	167	123	市民1人当りの経費(円)	140		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
		○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉・文化の森 NPO法人JIAOLIU鎌倉 鎌倉ガイド協会

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	外国人観光客の増加に対応すべく観光案内サービスを充実させるため、外国語版パンフレット発行部数の増加や外国語ガイド活動に対する支援の拡大を図る。併せて、紙媒体にとらわれず時流にあった情報発信を図っていく。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	年々増加する外国人観光客に対し観光案内サービスを充実させる必要があるため、予算規模の拡大を要する。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	今後も引き続き自主財源の確保に努めるとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、さらなる増加が見込まれる外国人観光客の受入体制の充実に向け、庁内全体での取組みを進めていく。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	東京オリンピック・パラリンピックに向け、増加が見込まれる外国人観光客の受入環境の充実を図る必要がある。
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	外国人観光客の実情やニーズに即した受入環境をつくるため、市民協働で行う飲食店等の外国語版メニュー等を作成することを目的とした多言語メニュー翻訳支援事業を実施した。
未解決の課題、新たな課題とその理由	年々増加する外国人観光客に対する受入環境の充実を図る必要がある。

- 解決
 一部解決
 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成29年度)単位:千人								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市
他市実績	20,423	16,480	3,028	7,655	6,115	8,210	977	6,311	51,431

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村対象に行う入込観光客数調査において、鎌倉市は横浜市に次ぐ数の観光客が訪れており、他市に比べ多いことが伺える。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)					単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	平成29年度 数値調査件数:511件 +18件 (WEB)		
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0			
	実績値	79.2	79.5	76.9	78.9	88.1				
	達成率	93.2%	93.5%	90.5%	92.8%	103.6%				

指標の内容	立ち寄り地点数 平均値(来訪者アンケート)					単位	地点	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
当該事業の実施により、観光客の分散化、観光需要の平準化、滞在時間の長時間化が図られているか確認するため。	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0			
	実績値	2.1	2.4	2.3	2.3	2.3				
	達成率	52.5%	60.0%	57.5%	57.5%	56.3%				

指標の内容	鎌倉での滞在時間数 平均値(来訪者アンケート)					単位	時間	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
当該事業の実施により、滞在時間の長時間化が図られているか確認するため。	目標値	-	-	-	-					
	実績値	-	-	4.8	4.8	4.9				
	達成率	-	-	-	-	#DIV/0!				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標とした数値に近い結果となっていることから、引き続き維持または向上させるよう努めたい。
-----------------------	--